

研究会備忘録

No.

21

研究グループ	<input type="checkbox"/> 効率性研究グループ <input checked="" type="checkbox"/> しくみ研究グループ
日時	平成19年11月1日(木) 16:00~18:00
会場	新館4階 423会議室
出席者	岩下、小河、佐藤、團野、前田、山下 (欠席:大道)
内 容	
テ ー マ	コ メ ン ト
校区再編の検討について	<p>前回の打合せにおいて、コミュニティ、行政区、校区の再編について話し合ったが、10/29(月)経営会議で、学校選択制等に関する市教育委員会の方針について、審議が承認された。学校区検討プロジェクト・チームの報告を受け、市内の一部地域の学校選択制、通学区域再編を平成21年4月の実施を目標とするとのこと。</p> <p>しくみ研究グループでは、現状の動向を把握した上で、10年後の望ましいまちのかたちを見据えて、区域再編について提案を行っていくこととする。</p>
区長の業務について	<p>岩下) 行政区の運営体制、区長制度のメリット・デメリットについて各区のH18年度実績報告書をもとに、コミュニティ毎の「区長の業務一覧表」「収支決算額一覧表」を作成。</p> <p>「区長業務についての考察」について、内容説明。</p> <p>【組織イメージ図】</p> <p>市が依頼する充職はコミュニティに任せる</p> <p>任命・報酬</p> <p>区長(自治会長)・隣組長 ※住民から選任</p> <p>区長は本来の業務に専念 (地域の輪、人と人とのつながりの強化に専念)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コミュニケーション ● 情報公開 ● ニーズの把握

現在、区長の参加を要する、区長のリーダーシップのもとに行われている事業はかなりの数（約 60～70 項目）がある。また、市や市関係団体が区長等に対して依頼している各種協議会、審議会等委員について「区長からの選任」を条件とする各種委員が約 17 項目あった。

「コミュニティ自治組織」コミュニティセンターの機能を強化することによって、区長の業務内容を移管、縮小することができると考えられる。

これによって、区長は、地域の輪・人と人とのつながりを強化するという本来の役割に専念することができるようになる。

例) 近所づきあい・顔の見えるつきあいの方法、参加者を増やす方法など

地域の自治力を強化するしくみを作ることが、道州制が導入された場合にも対応できるまちづくりの第一歩となる。

次回の打合せについて

- 区、コミュニティ自治組織が担うべき事業
- コミュニティ事業の検証
- フルコスト事業の仕分け